



SCOPH

Public Health

2013年2月28日

なごやぬいぐるみ病院

2月実施

報告書

作成者 伊東歌菜

作成日 2013年3月1日

なごやぬいぐるみ病院 2 月実施

日時	2013 年 2 月 28 日
目的・対象	対象：幼稚園年中児童 目的：病院のことを知ってもらう。予防接種の仕組みを理解し、注射への恐怖心を克服してもらうきっかけとなる。
参加人数	児童：30 人、学生：20 人
活動内容	9:45 学生入園 10:00～10:20 アイスブレーキング 体触りゲームを、3つのバージョンに分けて行った。 10:25～10:55、11:00～11:30 お医者さんごっこ（問診）・待合と、保健教育をローテートした。 児童をお医者さんごっこ・待合を行うグループと保健教育を行うグループの2つに分け、30分ごとに交代して行った。お医者さんごっこ・待合を行うグループはさらにお医者さんごっこを行うグループと待合を行うグループに分け、15分ごとに交代して行った。 お医者さんごっこでは、患者役の学生に対して問診を行った。待合では絵本を読み聞かせた。保健教育では、「小児科について」というテーマで、予防接種の仕組みについての劇を行った。その後、注射体験もした。 11:30 学生撤収
自由記載欄 (感想、反省など)	【アイスブレーキング】 子どもたちと学生との間にある緊張感をほぐし、お互いに打ち解けることを目的とし、体触りゲームを行った。これは、学生が声にだして体の部位を言い、その後にワントンボ遅れてその部位を子供たちに触ってもらうゲームである。今回は、第1段階ではゆっくり、第2段階では学生が言うのとは違う体の部位を触りながら、第3段階では速く、リズムを付けて、と変化を付けて行った。また学生が子どもたちと一緒に行うことで、子どもたちと学生とがより打ち解けられるように工夫した。

	<p>【お医者さんごっこ(問診)】 時間がやや短く、15分程度だった。 時間が短かったことや、学生が少なかったこともあり、2グループに分け、さらに待合と交互に行った。 カルテを改訂した。主な変更は漢字を平仮名に変更すること、体温計・インフルエンザ検査キット欄の増加。</p> <p>【待合】 医療系のテーマ(虫歯、排便など)についての絵本を図書館より借りてきた。事前に読み聞かせの練習はほとんど行えなかった。</p> <p>【保健教育】 「小児科について」というテーマで、予防接種の仕組みについての劇を行った。内容としては、ばい菌により病気にかかる仕組みを伝えた後、予防接種によって、リンパ球が抗体を作り、マクロファージと共にばい菌から体を守ってくれる、ということ伝えた。その後、注射体験を行った。最初に説明をし、子どもたちに2人ペアを作ってもらい、学生が1人ずつ子どもたちのペアにつく形式をとった。余った時間はじゃんけん列車を行った。</p> <p>今回の実施では学生の人数に対して子どもの人数が多かったため、通常の保健教育と問診のローテーションではなく、保健教育と問診・待合のローテーションとなった。</p>
スタッフ	活動責任者：伊東歌菜 副責任者：若松真野 コンタクトパーソン：野田茉友子

写真

【アイスブレイキングの様子】



【お医者さんごっこ(問診)の様子】



【保健教育(劇)の様子】

